

大安寺報

曹洞宗 圓祥山大安寺 住職:長岡俊應

〒039-4401 青森県むつ市大畑町本町80番地
Tel 0175-34-2926 Fax 0175-34-6426
E-mail info@daijanji.jp

名句・名言に学ぶ

小林多喜二(作家)

闇があるから光がある。そして闇から出てきた人こそ、一番本当に光のありがたさがわかるんだ。

光陰は矢の如し。今年も早、暮れようとしておりますが、皆様にとつて、この平成二十六年はどんな年だったでしょうか？ 本年は台風や活発な前線による大雨被害の多い年でしたが、ここ下北は大きな被害を免れました。あらためて、当地のめぐまれた自然環境に思いを致すと共に、被害の大きかった地域の方々が一日も早く通常の生活に戻るよう、祈念いたします。

また、今年、思わぬ苦しみや災難、悩みに襲われた方の中にはおられるでしょう。何より、大切なご家族や友人・知人と別れざるを得なかった方の悲しみは如何ばかりかとお察しいたします。

冒頭のことばは『蟹工船』などのプロレタリア文学の作家であった小林多喜二のもの。多喜二が、それまで不遇な生涯を送ってきた意中の恋人に贈った手紙の一節です。多喜二自身の経験に照らしながら、恋人の心中を察し、励ましの意味で贈った言葉であるとのこと。



奥菜研の隧道 (トンネル)

誰しも、苦しい状況に置かれた時、その状況が永遠に続くように思いがちです。先が見えない中、その絶望感から何度も心が折れかけた経験をした方もおられることでしょう。この世界は「諸行無常」故に、全ての物事が常に変化していくため、大切な人やコトを失う状況に直面してしまいます。しかし、その一方で、苦しい状況もまた、刻々と変化をし、好転する可能性を秘めています。光があるからこそ、陰ができて闇となる。苦業は表裏一体。好転する希望を持ちながら、日々出来る事を重ねていくことが苦を乗り越える鍵でしょう。そしてまた、冒頭のことばが示すように、苦しい状況を経験することで、人は日常の有難さを知り、謙虚になり、また、人に対して優しくなります。社会、人類に貢献した人々は皆、苦しい状況を経験し、また乗り越えた人ばかりです。「あの時あんな経験をしたらこそ、今の自分がある」。そう思うことで過去が明るく照らされ、しだされるものです。

来る年が、光に満ち、安穩で、皆様にとつて実りの多い一年になりますよう。祈念いたします。

合掌

仏事

Q & A

第 千四回

Q. 「年回法要の読経の後に唱えている、浄極まり」という回向の現代語訳が知りたい

A.

み仏の光は遍くいきわたり、み教えは世界を包み照らす。かえり来たつて世間を觀れば、遷ろいながれること夢の如し。仰いで、仏法僧の三宝を冀い、伏してわれらを照らし給え。家門今月此日、恭しく諸々の供物を供え、○○経を讀経す。集むる所の功德は(戒名)○○忌に回向し、さどりの世界を清浄にす。伏して願わくは、無常なる生死の流れにありても、貴き宝、大海原にきらめき、さどりの岸にありても、月、天空に輝く如くに、普く世間を導いて同じく、さどりの道をのぼらんことを。

当寺の最新情報をチェック!

■大安寺ホームページ

<http://www.daijanji.jp>

■大安寺携帯サイト

<http://keitai.daijanji.jp>

twitter

@daijanji2010

※行事予定などをお知らせします。

facebook

<http://www.facebook.com/daijanji>

大安寺の宗旨：曹洞宗 本山：福井県永平寺・神奈川県總持寺 高祖：道元禪師 太祖：瑩山禪師
ご本尊：釈迦牟尼仏 本尊唱名：南無釈迦牟尼仏 (なむしゃかむにぶつ)